

南部片富士湖だより

No. 60 平成23年 6月 2日 発行

北上川ダム統合管理事務所 管理第二課

〒020-0123 盛岡市下厨川字四十四田1番地 TEL 019-643-7972 FAX 019-643-7976

合同清掃活動 実施

5月27日(金)、岩手県立盛岡青松支援学校と北上川ダム統合管理事務所との合同清掃活動を実施しました。

はじめに、四十四田ダムのしくみや役割について説明した後、清掃活動を行いました。

青松支援学校高等部の生徒と先生あわせて43名、北上川統合管理事務所からは19名、総勢62名が参加し、1グループ13～14名の4グループにわかれて、四十四田ダム管理所周辺、緑地周辺や川下り広場、ダム堤体通路や公園駐車場、四十四田公園周辺で約1時間行いました。集まったゴミは、ジュース缶やペットボトル、タバコの吸い殻が多くありましたが、なかには釣り針と糸を拾った人もいました。

この清掃活動で集めたゴミは、45Lゴミ袋で約3袋分ありました。参加者は、「思ったよりゴミが少なく綺麗だった」、「環境について改めて考える機会がもてた」との声



熱心に説明を聞く参加者



ゴミ袋を片手に活動中



清掃活動終了後の挨拶

釣いをする際には・・・

春が訪れるとともに、ダム湖周辺には、たくさんの釣り人がやってきます。

四十四田ダムには、タナゴやウグイなどがいるとされていますが、最近では、ブラックバスなどの外来魚が多く確認されています。

岩手県では、これら外来魚についての、「再放流(リリース)」、「生きたままの持ち出し」が禁止されています。規則を守り、楽しい釣りをしてください。

また、ロープ等で規制している立入禁止区域内には、危険ですので絶対に立ち入らないようお願いします。



四十四田ダムにはよく釣り客が訪れています

☆ ダム見学 ☆

岩手県立杜陵学園 12名

新年度になり初めてのダム見学が5月6日（金）に行われました。

訪れたのは岩手県立杜陵学園の生徒・先生合わせて12名。ダム監査廊内や四十四田発電所を見学しました。四十四田ダムの役割や、普段には見れないダム内部を見れたことで、貴重な体験ができたようでした。



～ダム湖周辺の動植物～

シマヘビ ナミヘビ科：ナメラ属

「シマヘビ」は、日本では一般的な種類のヘビで、4本の縦縞模様が特徴（写真ではわかりづらいですが）。毒はないと言われていますが、噛まれたら消毒を行い必ず病院へ。

また、庁舎1階にある「ものしり館」のデッキにはヘビが現れることがありますので、注意してください。



今年も桜が咲きました

年末の大雪にも負けず、今年も綺麗な花を咲かせました。

残念ながら、絶好のシャッターチャンスには恵まれず、晴天の下での桜の写真をおさめる事はできませんでした。

桜の開花は連休と重なり、たくさんの観光客が予想されましたが、実際には雨やくもりの天気が多く、風も強かったこともあり、あっ！！という間に桜が散ってしまいました。

来年は穏やかな日が長く続くようお願いしたいと思います。

(写真は5月9日に撮影したものです)



四十四田ダムからお知らせです

- ◆ 6月6日～6月30日（予定） 通行規制を行います
四十四田ダム堤体の管理用階段補修工事のため、**ダム上部通路（四十四田管理所～四十四田公園）の一部の通行規制をします。**
安全確保の為、バリケード等を配置しますが、通行に支障が出る場合があります。
- ◆ 夜間 節電の為、堤体部（ダム上部通路）の照明を消しています。
通行時には、衝突・接触に注意してください。
ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



H23.5.12 撮影

編集後記

先日の合同清掃活動については本号の通りですが、当日の天気は朝から曇り空で午後には時折晴れ間も見えました。清掃活動開始時には、突風と思われるような強い風が吹き始め、ダム堤体を歩いていると、ダム下流からの風が音をたてて吹きつけ、帽子が飛ばす事が何回かありました。一人で歩いていると恐怖感さえ感じる強い風でした。最近では、アメリカの竜巻被害や、昨年の酷暑に大雪、大震災など、自然の力を改めて感じる事が多くあります。また普段何気なく見えていた動植物の生存力の強さなど、人間のチカラではかなわない事をたくさん感じました。（福）